

令和2年度事業報告書

法人の名称	特定非営利活動法人 藤沢グリーンスタッフの会
-------	------------------------

1 事業の成果

令和2年度は、新型コロナウイルス対策として緊急事態宣言が2回発出されるなどにより、藤沢市との協定に基づく協働事業はほぼ半年の間活動停止となった。このため、年間活動回数は臨時作業を含め32回（前年度49回）、参加者延べ562名（同952名）に止まりました。活動場所では、従来から実施している市の指定緑地22箇所に加え川名清水緑地での保全作業を開始しました。

各緑地とも長年の保全作業の結果、当初の荒廃していた状況から、明るくなり見通しも良くなってきています。また、市民が自然観察・散策などで利用できる”憩いの森”では樹木銘板の設置、除伐材を利用した園路整備などが行われています。

さらに、各緑地では、近隣住民の方々とのコミュニケーションを図りつつ作業内容を検討しており、特に大庭小ヶ谷緑地の臨時保全作業では周辺住民と連携して活動を行いました。

2 事業内容（①～⑤、⑧は特定非営利活動に係る事業）

①市有緑地保全協働事業に係る事業

内容：緑地の間伐、草刈り及び廃棄物等の収集により市民の憩いの場として緑地環境の保全を図る。
コロナ禍により、4月から6月、1月から3月に実施予定事業の24事業が中止。

実施時期	か所数	延べ参加人員
4月	0	0
5月	0	0
6月	0	0
7月	4	79
8月	3	38
9月	5	96
10月	6	107
11月	7	121
12月	6	115
1月	1	8
2月	0	0
3月	0	0
計	32	564

②緑地保全ボランティアリーダー養成講座に係る事業

内容：里山保全活動に必要な知識・技術の習得及び保全活動のリーダースキルの習得を図る。
コロナ禍により、予定講座のうち4月から6月に実施予定であった3講座などが中止。

実施時期	講座回数	修了者
令和2年4月～3年3月	10回実施(3回中止)	7名

③環境調査に係る事業

内容：指定緑地内の樹木及び草本類の調査並びにビオトープの管理及び水質調査を実施する。
コロナ禍により、環境調査実施予定12か所のうち5か所が中止。

活動内容	実施時期	回数	延べ参加人員
環境調査(植物調査)	令和2年4月～3年3月	7回	91名
小糸台ビオトープ池管理	令和2年4月～3年3月	3回	12名
水質調査	令和2年4月～3年3月	3回	11名

④普及啓発に係る事業

内容：市民に対し緑地保全の重要性についての啓発を図る。

コロナ禍により、新規に計画していたイベントなども含め12事業が中止。

活動内容	実施時期	回数	延べ参加人員
イベント参加、市民体験・クラフト工作の実施	令和2年4月～3年3月	9回	85名

⑤市民活動等支援事業

内容：緑地保全活動を行っている市民・市民活動団体に対する支援活動

コロナ禍により、4月から6月、3月に実施予定の事業は中止。前年度は17回実施し参加者310名であったが、令和2年度は10回実施し参加者は198名。

実施時期	支援対象、実施場所	回数	延べ参加人員
9月	2団体 庭園、公園	2回	51名
10月	2団体 公園2、庭園2	4回	78名
11月	2団体・1高校 公園2、庭園1	3回	55名
12月	1社 指定緑地	1回	14名
計		10回	198名

⑥民間企業緑地管理事業

内容：企業、団体の求めに応じ、敷地内緑地の樹木の除伐・剪定、草刈り等

実施企業等名	実施時期	回数	延べ参加人員
東レ社	令和2年7月、9月、10月、11月	16回	418名
池上通信機	令和2年7月、10月	2回	40名
養護老人ホーム湘風園	令和2年7月、10月	2回	24名

⑦ボランティアによる民有地(竹林)整備事業(新規)

内容：手入れの行き届かない寺社や個人所有の竹林において、枯れ竹・倒竹の整理、除伐等を実施

実施時期	回数	延べ参加人員
令和2年11月、12月	7回	80名

⑧事務局運営事業

- i) 備品管理・機材整備グループ : 3倉庫等に保管する機材備品の定期的な点検、整備、修理
- ii) 西俣野研修グループ : コロナ禍により、活動日は8日で参加者延べ83名と前年度から大幅に減少。学生ボランティアの受入れも中止
- iii) ・ステップアップ講座等 : 動力機器の整備・安全講習、竹林整備講習等実施。新たに自宅学習のため録画ビデオの作成し、YOU TUBU にアップ。
- iv) やりがいプロジェクトチーム活動のフォロー : 一昨年度のやりがいプロジェクトチーム、昨年度のタスクチーム活動でも残された課題である「養成講座の運営方法の見直し」、「活動費のキャッシュレス化」、「情報発信力の強化」などについて検討を重ね、一定の成果を得ることができた。

⑨同好会「樹木勉強会」

定期的な書籍の輪読、樹木観察、公民館との共催活動などを計画していたが、コロナ禍により、書籍「里山の自然を守る」の輪読を6回実施し参加者延べ70名を得るにとどまった。

活動計算書(会全体)

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(特非)藤沢グリーンスタッフの会

(単位:円)

科 目	金 額 (円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	272,000	
賛助会員受取会費	55,000	
準会員受取会費	2,000	329,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	175,000	175,000
3 事業収益		
長久保公園事業収益	200,000	
市協働事業収益	3,450,609	
民間企業事業収益	2,852,380	6,502,989
4 その他収益		
受取利息	35	
保険料個人負担分	68,000	
その他雑収益	279,980	348,015
経常収益計		7,355,004
II 経常費用		
1 事業費		
講師謝金	45,000	
活動実費	3,611,170	
作業用消耗備品費	739,231	
消耗品費	535,572	
資機材費	70,018	
車両費	268,465	
支払手数料	5,940	
雑費	5,376	
事業費計		5,280,772
2 管理費		
活動実費	407,560	
会議費	77,997	
通信運搬費	132,125	
広告宣伝費	48,695	
消耗品費	127,230	
資機材費	113,211	
研修費	10,000	
保険料	225,802	
水道光熱費	47,047	
支払地代家賃	96,000	
委託料	200,000	
支払手数料	48,840	
雑費	16,480	
管理費計		1,550,987
経常費用計		6,831,759
当期経常増減額		523,245
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		523,245
法人税、住民税、及び事業税		156,000
当期正味財産増減額		367,245
前期繰越正味財産額		4,068,986
次期繰越正味財産額		4,436,231

令和2年度 貸借対照表

令和3年3月31日現在
(特非)藤沢グリーンスタッフの会
(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
普通預金	4,116,425	未払法人税等	156,000
未収入金	458,537	預り金	1,531
前払金	18,800	流動負債合計	157,531
流動資産合計	4,593,762	固定負債	
		固定負債合計	0
固定資産		負債合計	157,531
固定資産合計	0	正味財産の部	
		前期繰越正味財産	4,068,986
		当期正味財産増減額	367,245
		正味財産合計	4,436,231
資産合計	4,593,762	負債及び正味財産合計	4,593,762

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

財産目録

令和3年3月31日現在

(特非)藤沢グリーンスタッフの会

(単位:円)

科 目	摘 要	金 額		
資産の部				
流動資産				
普通預金		4,116,425		
横浜銀行藤沢支店				
未収入金		458,537		
前払金		18,800		
流動資産合計			4,593,762	
固定資産				
固定資産合計			0	
資産合計				4,593,762
負債の部				
流動負債				
未払法人税等		156,000		
預り金		1,531		
源泉所得税(謝金)		1,531		
流動負債合計			157,531	
固定負債				
固定負債合計			0	
負債合計				157,531
正味財産合計				4,436,231